

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年5月1日

【2017年4月22日～2017年4月28日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルでは下落しましたが、対円では上昇しました。債券市場は、年限によりまちまちな動きとなり、2年国債の金利はほぼ変わらずの水準となりました。中長期国債の金利は上昇しました。

フランスの大統領選挙の第1回投票の結果、親EU(欧州連合)派のマクロン元経産相が首位で決選投票に進むことになり、世界的にリスク選好姿勢が強まり、ブラジル・レアルは上昇する局面もありました。

しかし、連立与党の一部が年金改革法案に反対するのではないかと報じられたことや、労働法改正や社会保障制度改革に反対するデモが各所で実施されたことを嫌気しブラジル・レアルは下落しました。

短期の金利は、利下げ期待から堅調に推移しましたが、年金を含む社会保障制度改革の反対により、財政悪化が懸念され、中長期の金利は上昇しました。

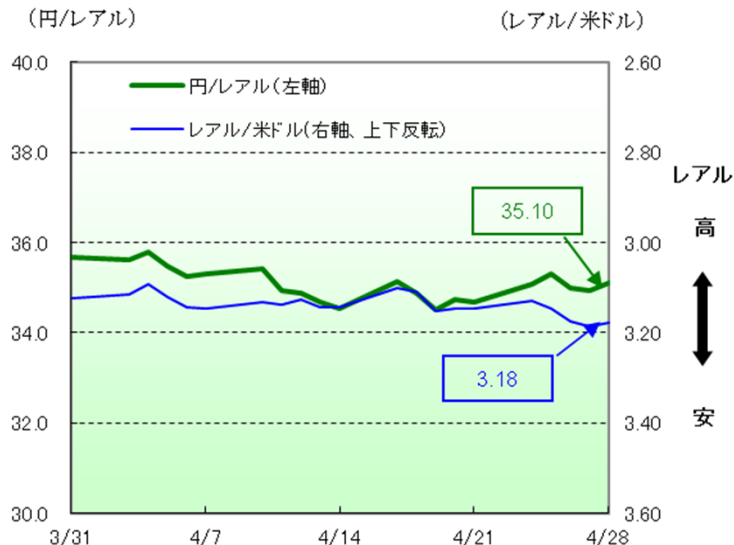
【2】今週の見通し

今週は、鉱工業生産などの経済指標の発表がありますが、引き続き、年金改革を含む構造改革の行方が注目されます。

北朝鮮のミサイル攻撃等への懸念が燃っており、地政学リスクの高まりにより、ブラジルを含めた金融市場が動揺する可能性には注意が必要です。

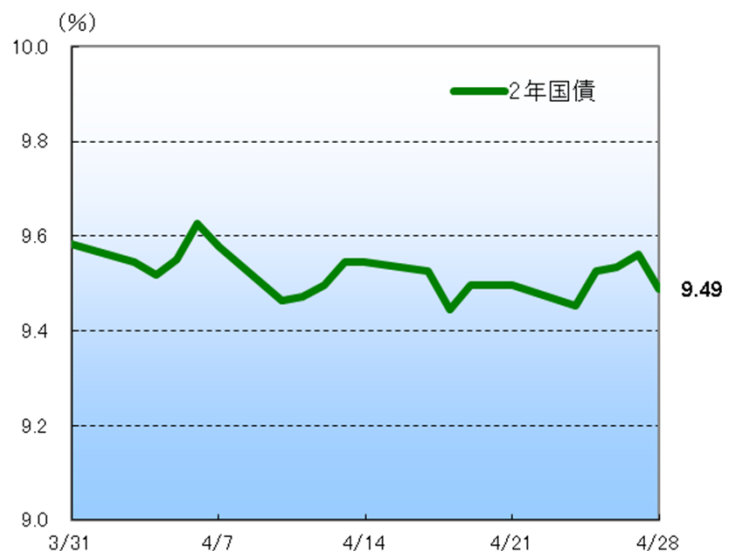
公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発がみえますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられ、構造改革期待を背景としたブラジルへの投資活発化を通じてブラジル・レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年3月31日～2017年4月28日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年3月31日～2017年4月28日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>